

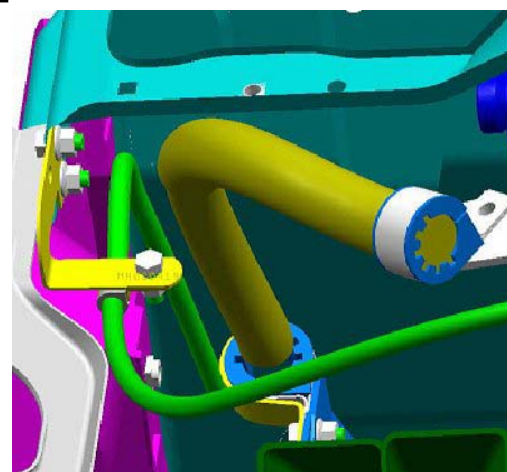
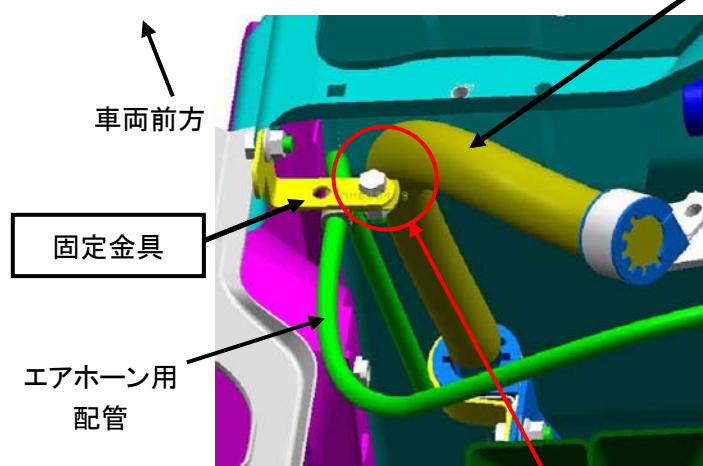
改善箇所説明図



改善前

エア配管

改善後



基準不適合発生箇所

エアタンクからブレーキバルブ間のエア配管の取り回しが不適切なため、当該配管とエアホーン用配管の固定金具との隙間が狭いものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、走行中の振動等により当該配管と取付金具が干渉し、損傷してエアが漏れ、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、エアホーン用配管の固定金具を対策品に交換し、当該エア配管との隙間を確保する。また、配管に干渉痕がある場合は、新品に交換する。

注：□ は、交換部品を示す。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラーストライカー付近に「MT-29」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。